

沖縄県子どもの貧困対策推進基金について

- 平成28年3月、子どもの貧困対策を推進することを目的として、沖縄県子どもの貧困対策推進基金を設置した。(H28.3.16条例公布) (一般財源より30億円積立)
- 基金の期間は、前沖縄振興計画の終期となる令和3年度までの6か年とした。
- 新たな沖縄振興計画(R4~R13)の終期まで設置期間を10年延長し、県及び市町村における子どもの貧困対策を実施・促進することとなった。

～誰一人取り残さない社会の実現のため～

- これまでの貧困施策の実施により沖縄県における子どもの貧困の状態は一定程度改善が見られたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大や物価高騰などにより、困窮世帯へ経済面、生活面等においてマイナス面の影響を与えている。(H27: 29.9% (子どもの貧困実態調査) ⇒ R4: 26.3% (高校生調査))
- 依然として貧困状態である現状等を考慮すると引き続き県及び市町村が複数年度継続して貧困施策を実施する必要がある。

これまでの実施状況 (H28~R3)

- 市町村実施事業 **計22.55億円**
 - ①就学援助の充実を図る事業 15.5億円
 - ②放課後児童クラブの利用料負担軽減を図る事業 2.72億円
 - ③子どもの貧困対策に資する市町村単独事業 2.65億円
 - ④国庫補助事業を活用し子どもの貧困対策に資する事業 1.91億円
 - ⑤子どもの貧困対策に資する事業実施に必要な臨時・非常勤職員等の配置 0.9億円
- 県実施事業 (16事業) **計2.73億円**
 - ・子どもの貧困実態調査事業等
 - ・子どもの貧困対策普及・啓発事業
 - ・ライフステージに応じた横断的な支援メニュー周知事業
 - ・妊娠期からつながる仕組み調査検討事業
 - ・市町村児童相談体制強化事業
 - ・就学援助制度周知広報事業 等
- **合計 25.28億円**

新たに
57億円
積み増し

10年間で
60億円

子どもの貧困対策推進基金
【30億円】
(H28~R3)

今後の実施事業 (R6年度)

- 市町村支援事業 **計3億円**
 - ・就学援助充実支援事業 200,000千円
 - ・市町村貧困施策支援事業 100,000千円
- 県実施事業 (11事業) **計3.2億円**
 - ・子どもの貧困対策推進基金事業 12,803千円
 - ・沖縄子どもの未来県民会議負担金事業 34,835千円
 - ・ヤングケアラー等寄り添い支援事業 96,406千円
 - ・若年妊産婦支援促進事業 26,158千円
 - ・ひとり親家庭・低所得子育て家庭日常生活支援事業 52,807千円
 - ・妊娠期からのつながるしくみ体制構築事業 18,503千円
 - ・沖縄県こども計画策定事業 7,844千円
 - ・社会的養育推進計画策定事業 6,900千円
 - ・沖縄こどもの貧困緊急対策事業 66,072千円 等
- **R6合計 6.2億円**

子どもの貧困対策推進基金
【60億円】
(R4~R13)